

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

本科目は、少人数を対象に医療に関係する生物学の初歩的内容について講義する。履修希望者多数の場合は、履修者を選抜する。遠隔授業のみ実施。

《担当者名》西出真也

【概 要】

ヒト正常生理や疾病を理解するためには、細胞のはたらきや代謝、遺伝、免疫機能などといった生物学の知識が必要である。本講義では生理学、病理学の理解に必要な基本的事項について学ぶ。

【学習目標】

【一般目標】

講義や教科書で学んだ知識を整理し、他人にわかるように説明できる。

【行動目標】

1. 神経系の構造と機能を説明できる。
2. 筋の構造と収縮を説明できる。
3. 感覚器の構造と感覚について説明できる。
4. 血液の循環について説明できる。
5. 呼吸の機序を説明できる。
6. 腎臓の構造と機能を説明できる。
7. 内分泌とは何か代表的なホルモンを挙げて説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 2	神経系	神経とは、活動電位、中枢神経系、末梢神経系	西出真也
3) 4	筋と感覚	筋の分類と構造、筋の収縮、体性感覚と特殊感覚	西出真也
5) 6	循環と呼吸	血液、循環、呼吸	西出真也
7) 8	体液と内分泌	腎機能、内分泌	西出真也

【評価方法】

講義中に出現する課題への取り組みにより評価する（100％）。

【備 考】

教科書：岡田隆夫、鈴木敦子、長岡正範 著「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版」医学書院 2018年

参考書：坂井建雄、河原克雅 編「カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版 第3版」日本医事新報社 2017年

【学習の準備】

次回の講義内容について課題を出すので、教科書を参照し解いておくこと。（80分）

講義で学んだ内容を復習し、定着をはかること。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれら

の人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。